

平成28年度 海洋情報部 研究成果発表会

平成29年3月8日(水) 13:10~18:00 (12:40開場)

基調講演 (13:15-14:00)

Wave Gliderによる台風中心付近の風と流れの観測

沖縄科学技術大学院大学 御手洗哲司 准教授

●セッション1：自律型海洋観測プラットフォームとその未来 (14:10-15:15)

「JAMSTECにおけるWave Gliderを利用した活動—多角的運用に向けて—」

植木 巖 (国立研究開発法人 海洋研究開発機構)

「海上保安庁におけるAOV(Autonomous Ocean Vehicle)の活用方法について」

西村一星 (海洋研究室)

「第十管区海上保安本部におけるAOVの運用について」

松永智也 (第十管区海上保安本部)

●セッション2：一般テーマ (15:25-16:55)

「衛星画像推定水深の海洋情報業務への活用」

松本良浩 (海洋研究室)

「海洋状況表示システムの構築に向けて」

桂 幸納 (海洋研究室)

「GPS-Aを用いた海底地殻変動観測の高頻度化と高精度化に向けた研究」

横田裕輔 (海洋防災調査室)

水路技術奨励賞 ポスター紹介/一般テーマポスター紹介

※ポスター掲示時間 12:40-18:00



場 所：中央合同庁舎第4号館共用220会議室

参加費：無料 ※事前申込不要です。

下記の広報資料を印刷してご持参ください。

<http://www1.kaiho.mlit.go.jp/GIJUTSUKOKUSAI/koho/20170210.pdf>

問合せ：海上保安庁海洋情報部技術・国際課

03-3595-3603

主催：海上保安庁海洋情報部

共催：一般財団法人 日本水路協会



平成 28 年度海洋情報部研究成果発表会プログラム

日 時：平成 29 年 3 月 8 日 13:10 - 17:40

会 場：中央合同庁舎第 4 号館 共用 220 会議室

主 催：海上保安庁 海洋情報部 共 催：一般財団法人 日本水路協会

開会挨拶

13:10-13:15 海洋情報部長 仙石 新

口頭発表

セッション 1：自律型海洋観測プラットフォームとその未来

- (1) 13:15-14:00 基調講演：Wave Gliderによる台風中心付近の風と流れの観測
沖縄科学技術大学院大学 御手洗哲司 准教授

14:00-14:10 休憩

- (2) 14:10-14:35 JAMSTEC における Wave Glider を利用した活動—多角的運用に向けて—
国立研究開発法人 海洋研究開発機構 植木 巖

- (3) 14:35-14:55 海上保安庁におけるAOV(Autonomous Ocean Vehicle)の活用方法について
技術・国際課 海洋研究室 西村一星

- (4) 14:55-15:15 第十管区海上保安本部におけるAOVの運用について
第十管区海上保安本部 松永智也

15:15-15:25 休憩

セッション 2：一般テーマ

- (5) 15:25-15:40 衛星画像推定水深の海洋情報業務への活用
技術・国際課 海洋研究室 松本良浩

- (6) 15:40-15:55 海洋状況表示システムの構築に向けて
技術・国際課 海洋研究室 桂幸納

- (7) 15:55-16:10 GPS-Aを用いた海底地殻変動観測の高頻度化と高精度化に向けた研究
海洋調査課 海洋防災調査室 横田裕輔

- (8) 16:10-16:25 水路技術奨励賞ポスター紹介

- (9) 16:25-16:55 一般テーマのポスター紹介

閉会挨拶

16:55-17:00 技術・国際課長 加藤 幸弘

ポスター発表(コアタイム 17:00 - 17:40)

水路技術奨励賞

(後日決定)

一般テーマ

- (P1) AOVが捉えた特異事象について
環境調査課 糸井洋人 ほか
- (P2) 日本海及びオホーツク海における人工放射性物質の挙動
技術・国際課 海洋研究室 難波江靖 ほか
- (P3) 東京湾奥部における底層溶存酸素量の時間変化
技術・国際課 海洋研究室 渡邊奈保子 ほか
- (P4) 鹿児島湾の潮流シミュレーションについて
環境調査課 土屋主税 ほか
- (P5) 西之島における 2013-2015 年活動に伴う海底地形の変化
海洋調査課 海洋防災調査室 小野智三 ほか
- (P6) 西之島周辺海域の海水組成変化
海洋調査課 海洋防災調査室 佐藤泉 ほか
- (P7) GPS-A を用いた海底地殻変動観測の高頻度化と高精度化に向けた研究
技術・国際課 石川直史 ほか
- (P8) 沖縄トラフ北端部における地質構造
技術・国際課 海洋研究室 岡田千明 ほか
- (P9) 地震波速度構造から見る北部・中部沖縄トラフ
技術・国際課 海洋研究室 西澤あずさ ほか
- (P10) AUV(Autonomous Underwater Vehicle)「ごんどう」を用いた中部沖縄トラフ
仲泊海陵^{なかとまりかいりょう}の海底地形調査
海洋調査課 大陸棚調査室 長澤亮佑 ほか
- (P11) AUV 調査によって明らかになった南西諸島南部の海底火山の溶岩流地形
海洋調査課 大陸棚調査室
(現：石油天然ガス・金属鉱物資源機構) 南宏樹 ほか
- (P12) 千島海溝南西周辺海域における 3D 海底地形 (アナグリフ)
第五管区海上保安本部 泉紀明 ほか
- (P13) 海洋ごみ問題の現状とモニタリングの課題
技術・国際課 海洋研究室 三枝隼 ほか